

## **閉会の挨拶（運営会議議長 佐藤文隆）**

最後に提案された件は、ご注意戴いた点に配慮するとともに、ウィッシュリストのようなものを別につけた方がいいのではないかと思います。これから実際の研究開発など具体的なことが始まり、核融合フォーラムの役割も局面が変わって色々大事な点が出てくるという認識が深まったと思います。大変なことになったなとも思いますが、みなさんのご協力でもう少しの間役目を務めさせて戴きます。最後にご発言戴いた方と調整が必要ですが、必ずしもわが国の、ということではないのではないかと申し上げたい。もちろん、わが国の国民が世界的に意義のある役割を果たすという点では重要ですが、インドや中国がより熱心になっていることを理解しなければならないと思います。日本にはエネルギーのオプションがいっぱいあり、むしろ使いすぎという論調もあります。勿論、世界全体の安定を考えたときに、核融合というオプションに英知を集めてやるということを捨てることはできませんが、その中で、日本で主にそのエネルギーを使わなくても、日本の役割は重要ではないでしょうか。社会というのは必ずしも日本の社会だけではありません。世界の安定を考える際、日本の問題でもあるが、エネルギー問題という視点でもう少しグローバルな視点を持ち込む機会としてこのITER計画の問題はあるのではないのでしょうか。長くなってしまいましたが、本日はご参集戴きありがとうございました。以上で、閉会とします。

以上